



21回目を迎える市民演劇祭が2月8日と9日の2日間、文化センターで行われ、あわせて8組の劇団が日ごろの練習の成果を披露しました。若い力を全面に出した勢いのあるものから、ベテランの円熟味あふれる熱演まで、どれも個性的なものばかり。カーテンコールのあいさつでは、出演者全員が充実感たっぷりの表情を浮かべ、観客の声援にこたえていました。

## 2/9 熱演！ 市民演劇祭

## 1/26 守ろう！みんなの文化財

「文化財防火デー」に定められたこの日、2点の市指定文化財を所有する今本町の崇福寺で、消防署、消防団、婦人防火クラブ、自主防災会らの協力により、防火訓練が行われました。

訓練中、ほかの場所より119番通報があり、消防署員が対応のため、訓練が中断する一幕も。「そりゃあ、本物の火事の方が重要だからね。しっかりやってください」と集まった人たちは苦笑い。頼もしい署員の動きに、納得の「待ち」となりました。



バレンタインデーを間近にひかえたこの日、デンパークで「バレンタインクッキー教室」が行われ、家族連れなどたくさんの方が手軽にできるクッキー作りにチャレンジしました。「せっかくのバレンタインクッキーなので、誰かにあげようと思います」と話してくれた、友達同士というお2人。星やハートの形をしたおいしいクッキーは、はたして誰のもとへ。

## 2/9 このクッキーは 誰のもとへ？

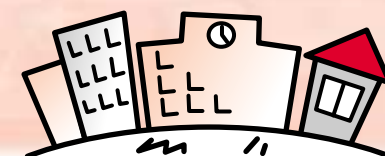


1月31日から先月2日まで、文化センターで「かがくのひろば展」が開催され、市内の各小中学校から選ばれた優秀な発明作品や実験観察結果が展示されました。

来場者は、実際に作品を手にしなが、その発想のすばらしさに驚きの表情を浮かべ、会場内を巡っていました。

## 2/1 小柴さん・田中さん そして…

# わがまち フォト グラフ



## 2/11 地域が育てる子どもたち

青少年健全育成推進大会が文化センターで開催され、日ごろ青少年健全育成に尽力されている人や、他の模範となる児童・生徒、「家庭の日」啓発ポスター受賞者が表彰されました。

また、大会終了後には、教育評論家で尼崎お笑い軍団団長でもある田中くにお氏の記念講演が行われました。モットーである「3分間に1回笑わせます」の言葉どおり、笑いや実体験を織り交ぜながら「子どもたちの育成における地域の重要性」を来場者に訴えました。

## 2/10 盲目のバイオリニストと 夢の競演

丈山小学校で、全盲のバイオリン奏者穴沢雄介さんを招待して、ミニコンサートが開催されました。

5歳でバイオリンを始めた穴沢さんは17歳で失明。しかし、「音楽で身を立てたい」という強い意志により、プロの演奏家となり、現在は全国で活動しています。

コンサートの最後に、全校児童がお礼として、「トゥモロー」という曲を大合唱。歌の途中からは即興で穴沢さんの演奏が加わり、思わぬ夢の競演へ。児童と穴沢さんの心が音楽で一つになりました。

